

の中に怪名造字一則有、この怪名もこの類ひにちかし、或は奇字をもて名とせるなれば同じとは云べからず、

〔古今要覽稿姓氏〕あざな

あざなは、皇朝いふ所と西土稱する所と趣を異にする。○申日本紀に改字曰丹波小子、また字島郎と見え、萬葉集に字曰石麻呂などを見るに、當今の假名のごとし、故に讀曰那蓋與名同と日本證いふ、また一時の戯れに出たるあだなをも字といふこともあり、類聚名物考。

〔日本書紀仁賢〕億計天皇、諱大脚○註字嶋郎弘計天皇宗顯同母兄也。

〔日本書紀孝德〕天豐財重日足姬天皇四年六月庚戌、輕皇子○申升壇卽祚于時大伴長德銅馬連、帶金靄立於壇右、

〔續日本紀稱德〕神護景雲二年五月丙午、勅○申頃見諸司入奏名籍○申或取真人朝臣立字以氏作字○申其如此等類、有先著者亦卽改換務從禮典、

〔日本靈異記上〕凶人不孝養姊房母以現得惡死報緣第廿三

大和國添上郡有一凶人也、其名未詳、字曰瞻保、是難波宮御宇天皇○孝之代預學生之人也、

〔日本靈異記中〕罵僧與邪姪得惡病而死緣第十一

聖武天皇御世、紀伊國伊刀郡桑原之狹屋寺尼等發願於彼寺備法事、請奈良右京藥師寺僧題惠禪師、字曰依綱、禪師俗姓奉仕、十一面觀音悔過時、彼里有一凶人、姓文忌寸也、字云上田三郎矣

〔日本靈異記中〕憶持心經女現至閻羅王闕示奇表緣第十九
利莉優婆夷者、河内國人也、姓利莉村主、故以爲字、

〔萬葉集十六〕傳云有大舍人土師宿禰水通、字曰志婢麻呂也、於時大舍人巨勢朝臣豊人、字曰正月麻呂、與巨勢斐太朝臣名字忘之也、鳴兩人、並此彼貌黑色○下